

## ◎環境保全委員会

### 平成 17 年度教育改善推進計画

#### 1. 特活を利用した環境教育

持続可能な社会を目指す人間を育てるためには、幅広い環境教育の機会を設ける必要がある。特活の時間をその目的に使うことは有効である。学内外で、環境教育に関する人材とテーマを集め、低学年教育委員会と協力して環境教育を継続する。平成 16 年度は学年全クラスを視聴覚教室に集めて 1, 2 年生に対してそれぞれ 1 回だけの講演であった。平成 17 年度はクラス単位で複数回の講義ができるよう努力する。

##### 「実施した内容とその成果」

平成 17 年度は 1 月 20 日(2 年生 1~3 組)、2 月 3 日(2 年生 4, 5 組)、2 月 10 日(1 年生全クラス)に環境講座を開催した。環境講座のスライドは Power Point で何種類かを作成してある。1 年生といえども複数のクラスが集まると、全体がざわつき講演しにくい。今後は学級担任が単独で講義できるよう検討した方がよい。

#### 2. 学生の環境専門委員会の活動

平成 15 年度に発足したこの委員会を活性化させる。具体的には、学生会、学生委員会とも協力し、本委員会と学生会活動の連携を図る。

##### 「実施した内容とその成果」

平成 17 年度は学生環境委員長と学生会長が話し合い、平成 18 年度から学生環境委員会を学生会に組み込んだ。今後は予算の面でも人の面でも学生会活動として活性化が期待できる。

平成 17 年度は委員会の開催が 7 回、里親清掃を 12 回、学年集会を 2 回、市民一斉清掃を 1 回、合計 22 回実施した。クラスにより委員(担任)の意識が異なり、4 クラスが 1 回だけの参加、1 クラスは一度も参加しなかった。このようなクラスの担任の意識改革が必要である。

#### 3. 学校美化活動

単なる呼びかけではなくて、どの程度実践できているかを記録、公開して本校の実情を全教職員に認知してもらう。

##### 「実施した内容とその成果」

環境委員にアンケートを採り、環境美化の現状を調査し、学生達がどのように感じているかを庶務横の玄関に掲示した。教室は 70%のクラスが週 1 回、30%のクラスが週 2 回の清掃をしている。学生の 70%はこの現状で普通と感じていることが明らかになった。

#### 4. 昼休み時間消灯の提案

昼休み時間の消灯を全学的に呼びかけ、学生並びに教職員の環境意識を高める。

「実施した内容とその成果」

教室やトイレに節電の張り紙をした。どの程度効果があったのかは不明であるが、平成17年度の電力使用量は12月現在で前年度を下回っている。